

平成27年5月17日

愛媛県ミニバスケットボール連盟
加盟チーム関係各位

愛媛県ミニバスケットボール連盟

ゾーンディフェンスの禁止について（お知らせ）

平成27年度「第47回全国ミニバスケットボール大会」より、ゾーンディフェンスが禁止になります。それにもない、平成27年度「第37回四国ミニバスケットボール大会」も同様に運営することとなりました。

【現在の状況とゾーンディフェンス禁止の方向になる背景】

FIBA MINIの規則（国際ルール）に、日本ミニバスケットボール連盟の規則が違反しています。このことを重く見たFIBAに、ゾーンディフェンスについて日本ミニ連が説明を行いました。（別紙「FIBAへの説明・要望事項等」参照）

【愛媛県ミニバスケットボール連盟の方針】

愛媛県ミニバスケットボール連盟では、ミニバスケットプレイヤーのよりよい育成の観点からもマンツーマンディフェンスをしっかりと身に付けさせることは大切であると考えます。

子どもたちが、ボールを見て、マークマンを見てディフェンスし、一生懸命ボールを追いかけることが理想の姿です。ゾーンディフェンスは有効な戦略・戦術ですが、決まった場所を守る消極的なディフェンスであるとも言えます。そして、昨今マンツーマンディフェンスが身に付いていない子どもたちが目立つようになっているのも事実です。子どもたちの将来を考えると、「身に付けておかねばいけない基本的な技術（オフェンス、ディフェンス両方）とは何か。」「バスケットボールの本当の楽しさとは何か。」を伝える必要があります。

そこで、当連盟としては、今年度の県大会（四国大会予選・スポレク大会・全国大会予選）からゾーンディフェンスを禁止していくことにしました。

指導者の皆様には、これらの趣旨を理解していただき、子どもたちのより良い育成に力を注いでほしいと願っています。

年度が始まってからの施行で、何かとご迷惑やご不便をおかけすると思いますが、バスケットボール界が大きく変わろうとしています。何とぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

【マンツーマンディフェンスとは】

今後の県大会では、マンツーマンディフェンスを少なくとも以下のことととらえ、共通理解としていきます。

○ マンツーマンディフェンスとは

- ・ 1線 ボールマンにマッチアップをする。
- ・ 2線 マッチアップ及びヘルプポジション（マンマークを前提とする。）
- ・ 最初から制限区域内だけを守ることはしない。

ゾーンディフェンスとマンツーマンディフェンスの明確な線引きは困難ですが、マンツーマンディフェンスの考え、動き方、的確なポジション取りなど基本的なことをしっかりと子どもたちに身に付けさせていただきたいと思います。日本ミニ連よりは、今後DVDなどの資料を各県に配布する予定と聞いています。県ミニ連としましても、手探りの状態でのスタートとなりますが、各地区および各チームの方々のご協力をお願いいたします。

【イリーガルディフェンスの対応について】

ゾーンディフェンスかどうかの判断は、会場主任・コミッショナー等が行います。罰則は設けませんが、必要に応じてクォータータイムやゲームクロックが止まっているタイミング等で指導を行います。明らかにゾーンディフェンスと分かる場合は、試合を止めて指導する場合があります。

特に、四国大会・全国大会に推薦するチームについては、愛媛県代表として、チーム力・マナーだけでなく、ゾーンディフェンスに抵触することのないチームを推薦する予定です。

別紙参考資料 「月刊バスケ6月号 臨時増刊」 ミニバスケットボール界に訪れる改革
日本ミニバスケットボール連盟理事長 坂本昌彦氏 コラム